



牛島小学校 校長室便り



吉野川市立
牛島小学校 校長室

R 4.10.11

新型コロナウイルス感染症の第七波がようやく収まり始め、とくしまアラートもレベル1に下がり、学校の活動の制限も少し緩和されることとなりました。感染症対策を徹底しながら、活動の幅を広げていくことができます。保護者の皆様には、子ども達の体調管理に多大なご協力をいただき、ここまで乗り越えてこられたことを心より感謝しております。

実りの秋・・・変化していく実りある教育活動を

コロナにおける状況が変わってきましたので、運動会や参観日において、これまで保護者の皆様にお願っていた「健康観察票」の提出をお願いしないこととさせていただきます。

十月は、各地で秋祭りが行われ収穫を祝う声が聞こえてきます。学校においても、これまで積み上げてきたことが成果へと結びついていきます。今週からは、運動会の練習が始まります。感染症対策を徹底した上で、子ども達の力を最大限発揮し、一人一人の輝いた姿を保護者の皆様に見ていただきたいと思います。

《お願い》 運動会の服装について
校章の入った体操服を基本とします。
(名札の必要はありません)
体操や天候に合わせて夏・冬どちらの体操服でもかまいません。
※夏の体操服については、校章の入っていないものがない場合は、白Tシャツ(ワンピーストは可)でもかまいません。

本校の人権教育

本校の人権教育目標は、「自他を大切にする意識を高め、互いの考えを伝え合い、様々な人権問題の解決を図ろうとする子どもを育成すること」です。

- ・自尊心を高めること
- ・進んであいさつができること
- ・規範意識を向上させること
- ・コミュニケーション力を育てること

重点目標とし、子ども達と教職員が一つとなり取り組んでいます。ポジティブな行動支援により自分の行動が、望ましい行動であると認められることで、自己肯定感が高まり、友達のよい行動を手本にして行動する児童が増えていきます。各学級で行っている「よいところ見つけ」や「あったか言葉」など様々な取組により互いの個性を尊重し、多様性を受け入れる思いやりが育っています。

六年生を中心に行っている「あいさつ運動」の成果も現れています。ふれあい班活動により友達との交流の時間を増やして互いを知る機会を多く作ったことで、友達の得意なことや好きなことを知ることができ、仲間意識に高まりが見られます。十二月の人権参観日では、各学級の人権学習を見ていただき、保護者の皆様と共に、さらに豊かな人権感覚を育てていきたいと思っております。

思春期教室

助産師さんを講師に迎え、命の大切さや赤ちゃんが生まれてくるまでのこと、生まれてきたこと、生まれるまでの母親の大変さや生まれたときの命の尊さを感じ取ることでできました。



楽焼き(形成)教室

全校児童を対象に、今年も「楽焼き」をいたしました。動物や入れ物、埴輪など各学年でテーマを決めて取り組みました。



水防出前講座

県土整備部水管理政策課の方を講師としてお迎えし、治水や水防について教えていただきました。「本結び」や「もやい結び」などのロープワークも体験しました。身近な川について大切なことを学ぶことができました。



昆虫教室

徳島蝶の会代表の方に来ていただき、昆虫教室を開きました。世界中を回り、採集したカブトムシやクワガタムシ、様々な蝶などたくさんさんの標本を前に、昆虫についての興味深い話を聞くことができました。



児童会引き継ぎ式



児童会の前期と後期の引き継ぎ式を行いました。前期役員の子ども達は、児童会活動を行うなかで、自分自身が成長したことや学校が良くなったことに喜びを感じていました。

後期役員の子ども達の、「自分自身が人前で話すことが苦手なので、それを克服するために、」
「学校を笑顔と元気でいっぱいしたい。」
「あいさつ運動に力を入れたい。あいさつをしたらあいさつが返ってくるように取り組みたい」などしっかりと意識し、真剣に考えている様子が伝わってきました。
「牛島小学校の鍵」をバトンとして立派な引き継ぎが行われました。

